

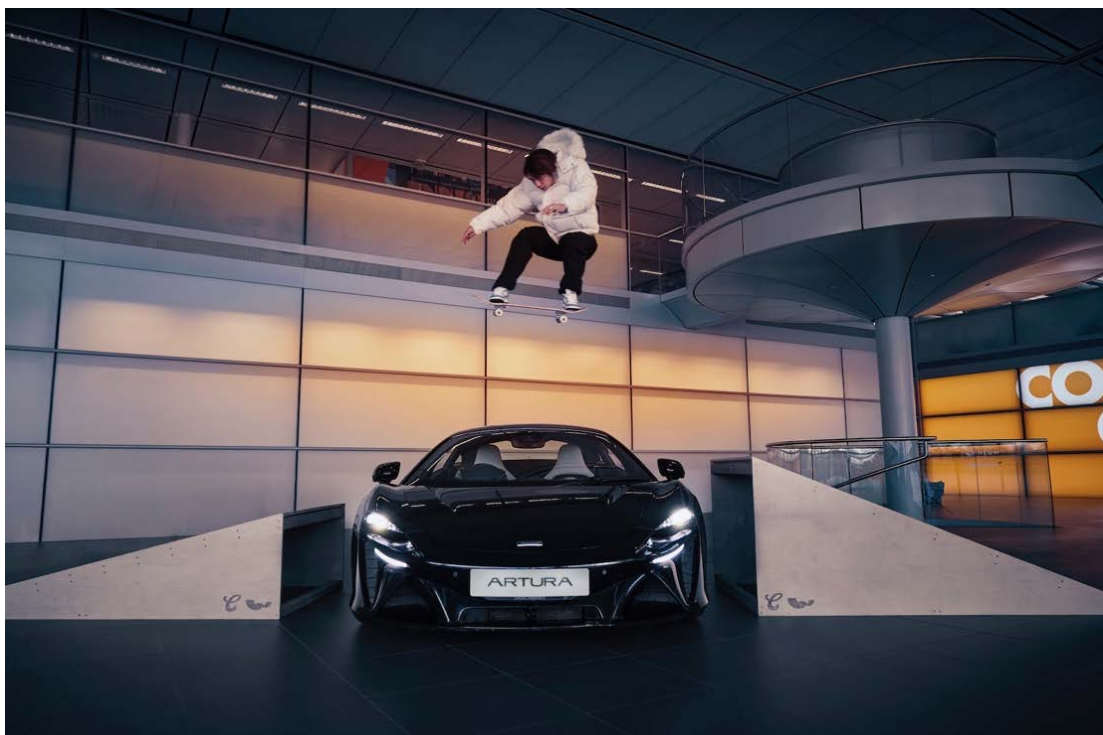
Media release

2025年2月6日

## プロスケートボーダーの堀米悠斗さんが、世界的に有名なマクラーレン・テクノロジー・センターに「ドロップイン」

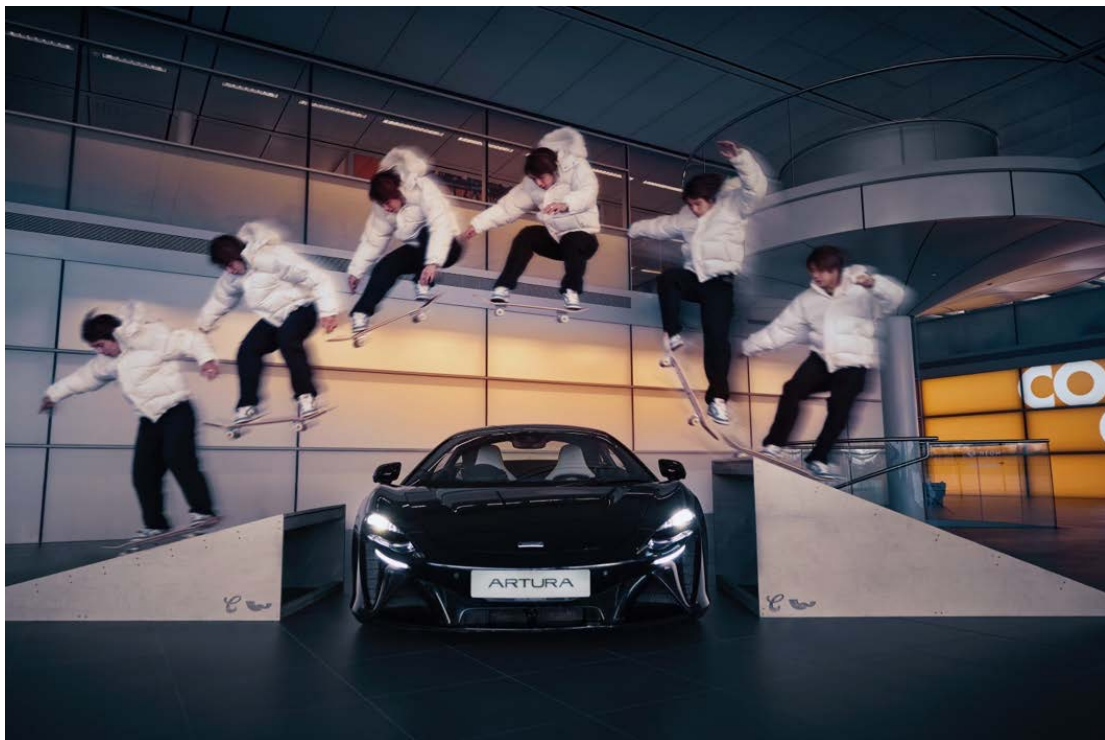
- 2度のオリンピック金メダリストである堀米悠斗さんが、マクラーレン・テクノロジー・センターでスケートボード世界チャンピオンの資質を披露
- 堀米さんは、700PSの新型 McLaren Artura Spider の軽量で爽快な走りを体感
- 彼はマクラーレン・テクノロジー・センターの歩道で、McLaren Artura を飛び越える華麗なランプ・トゥ・ランプ・ジャンプを披露。さらに、有名な地下通路や伝説的なロードカー、レーシングカーの前でもトリックを演じる
- 堀米さんは、マクラーレンの特注パーソナライゼーション部門であるマクラーレン・スペシャル・オペレーションズ（MSO）が塗装したスケートボードデッキを受け取る

マクラーレン・オートモーティブは、プロスケートボーダーの堀米悠斗さんをマクラーレン・テクノロジー・センター（MTC）に迎え、特別なツアーを実施しました。堀米悠斗さんは、2024年にパリで開催された世界的な競技大会のスケートボード男子ストリートで優勝を果たしています。



英国・サリー州ウォーキングにある MTC は、世界的に高名なイギリス人建築家ノーマン・フォスター卿が設計を手掛け、マクラーレンのブランドアイデンティティを建築という手段で表現した傑作です。堀米雄斗さんは、この MTC 内をスケートボードとともにめぐり、伝説のレーシングカーやマクラーレンの製造ラインの見学などを堪能しました。

さらに MTC を満喫してもらうため、堀米雄斗さんにしか体験できないイベントを実施しました。ひとつは、McLaren Artura をスケートボードで飛び越えるという特別な体験です。全長 4540 mm×全幅 2080 mm（ミラー折りたたみ時 1976mm）×全高 1195 mmの McLaren Artura を、世界中を魅了したトリックでジャンプ。3 度の試技を披露し、その迫力ある華麗なジャンプで私たちを魅了しました。



続いて、e スポーツのプロチーム、McLaren Shadow との実戦さながらの F1 シミュレーションゲーム対決。さらに、マクラーレンの技術を結集した次世代のスーパーカー McLaren Artura に McLaren Shadow のメンバーとともに乗りこみ、敷地面積約 150 エーカー（約 60 万平方メートル）を誇る MTC、そして自然あふれる英国でのドライビングの醍醐味とともに、マクラーレンツアーを締めくくりました。



「マクラーレン・テクノロジー・センター (MTC) を訪れ、本当に圧倒されました。建物やデザインの細部に至るまで、すべてが美しく、特別な空間でした。特に、F1 マシンや過去の名車が並ぶギャラリーは圧巻で、McLaren の歴史や革新への情熱を肌で感じることができました。一瞬の判断が結果を左右する点や、道具のクオリティとライダー (ドライバー) のパフォーマンスが密接に関わっている点など、技術と精密さが求められるスケートボードと F1 には意外にも共通点があると感じました。MTC は単なる工場や研究施設ではなく、夢を形にする場所であると実感しました。この貴重な体験に心から感謝しています。

McLaren Artura を飛び越えるときはさすがに緊張しましたが、イメージ通りのトリックを決められたと思います。こんな貴重なシーンは滅多にないと思うので、ぜひ皆さんに見てほしいです。

McLaren Shadow との eSports 体験では、リアルの競技と同じくらい緊張感があり、戦略や集中力が本当に重要だと感じました。McLaren のシミュレーターは本格的で、実際にレースをしているような感覚でスリルがあり、とても刺激的です。グラフィックや操作感が本当にリアルで驚きました。自分がレーサーになるにはもう少し時間が必要ですが (笑)、とても楽しかったです。McLaren Shadow Project は、誰でも挑戦できる夢のあるプロジェクトだと思います。スケートボードや他のスポーツでも、eSports などとコラボレーションの機会が増えると面白いと思います。

McLaren は本当に最高でした！ MTC を訪れ、McLaren に触れることで、新たなインスピレーションを得たように感じます。今回の体験を通じて、これからのスケータリングをもっと進化させていきたいと思います」

プロスケートボーダー・堀米雄斗選手

エキサイティングなジャンプシーンを含めた堀米雄斗さんのインタビューは、マクラーレン・オートモーティブの公式ソーシャルにて公開しています。

## ■堀米雄斗

プロスケートボーダー

スケートボーダーの父親の影響でスケートボードを始めた。10代前半ではすでに日本のトップスケーターとなった堀米はその才能を海外で発揮すべく、14歳の頃から世界各地のトップコンテストにエントリーした。

高校を卒業し、18歳の時にスケートに専念するためにカリフォルニア州ロサンゼルスに移住することを決めた。そして渡米後、2018年、2019年のSLSコンテストで連覇し（2019年SLSロンドンで日本人初優勝）、XGames ミニアポリス 2019年、2021年イタリアで開催されたストリート世界選手権、そしてXGames 日本 2022年で金メダルを獲得し世界トップレベルの選手に君臨した。堀米は、2023年に象徴的な Tampa Pro の大会で日本人として初めて優勝し、2024年には連覇を達成した。

また、堀米は2020年東京オリンピックでストリートスケートボードの初代金メダリストになり、今年の2024年のパリオリンピックにて奇跡的の大逆転で連覇を成し遂げ、日本中に嵐を巻き起こした。

25歳で堀米はスケートボード界の世界的なアイコンになり、日本スポーツ界の若きトップアスリートとして名をあげている。

## McLaren Artura について：

アルトゥーラ は、全く新しいマクラーレン・カーボン・ライトウェイト・アーキテクチャー(MCLA) を採用した、マクラーレン初のシリーズ生産ハイパフォーマンス・ハイブリッド(HPH) スーパーカーです。605馬力を発揮する120°バンクのV6 ツインターボエンジンと95馬力のモーターを組み合わせたシステム出力は700馬力に達します。7.4kWhのリチウムイオン・バッテリーにより最大33kmのEV走行も可能です。

<オフィシャル画像> (37.6MB)

<https://tinyurl.com/2xucwvtm>

マクラーレン・オートモーティブについて：

マクラーレン・オートモーティブは、究極の軽量ハイパフォーマンス・スーパーカーを開発している企業です。2010年に設立され、今やマクラーレン・グループの主要機関となりました。

マクラーレン・オートモーティブでは、イギリスのサリー州ウォーキングにあるマクラーレン・テクノロジー・センター（MTC）を本拠地に、世界で最も刺激的で魅力にあふれたベンチマークを作り出すという目標に果敢に挑んでいます。60年以上にわたってレースで本物のパフォーマンスを追求してきた歴史を糧に、史上屈指の驚くべきスーパーカーの数々を世に送り出してきました。

GTS、スーパーカー、モータースポーツ、アルティメットモデルのポートフォリオは、世界40の市場で販売されています。車両はすべて、MTCと同じ敷地内にあるマクラーレン・プロダクション・センター（MPC）において、手作業で組み立てられています。

マクラーレンは、常に限界を押し広げ続けるパイオニアです。1981年には、軽量で強力なカーボンファイバー製シャシーをマクラーレン MP4/1 で F1 に導入。

その後1993年に、伝説のロードカー、McLaren F1 を設計・製造します。カーボンファイバーシャシーを中心に、マクラーレンのスーパーカーDNA を確立すると、2011年に McLaren 12C として結実させ、これがマクラーレン・オートモーティブの最初のプロダクションカーとなりました。

2013年、世界で初めてハイブリッド・ハイパーカー、McLaren P1™を誕生させました。ここからアルティメットシリーズが始まり、2018年にはマクラーレン セナが、翌年にはサーキット専用の GTR バージョンが加わりました。2019年にはハイブリッド・ハイパーGT のスピードテールが誕生。同年末には、オープンコクピットのロードスターで、マクラーレン史上最軽量のロードカーであるエルバが発表されました。

一方、シリーズ生産スーパーカーの中で究極のサーキット・パフォーマンスを誇るのがマクラーレンの LT モデルです。いずれも限定生産で、その名は、1997年のレースに出走した F1 GTR のロングテールバージョンに由来します。2015年に登場した 675LT のクーペとスパイダー以来、マクラーレン・オートモーティブのモデル名として使われるようになりました。マクラーレン LT のポートフォリオは、2018年に発表された 600LT でさらに拡大し、2020年と2021年には、それぞれ 765LT のクーペとスパイダーが加わりました。

同じく 2021 年、新型高性能ハイブリッド・スーパーカーのマクラーレン アルトゥーラを発表。アルトゥーラは、マクラーレン・カーボン・ライトウェイト・アーキテクチャー (MCLA) を享受する最初の車両です。MCLA は、世界初の手法を用いて、英国シェフィールド地域のマクラーレン・コンポジット・テクノロジー・センターで設計、開発、製造され、ブランドの輝く未来を牽引することになります。

2022 年には、シングルシートでクローズドコクピットのサーキット専用モデル、Solus GT を発表しました。これは、ゲームのために作られたバーチャルの未来的コンセプトを実車化したマシンです。

2023 年、数々の受賞歴を誇るスーパーカーの 720S を進化させ、マクラーレンのシリーズ生産スーパーカーで最も軽量かつパワフルな 750S を発表しました。また、McLaren GT の後継モデル、新型 GTS も導入しています。

2024 年には、ブランド初のハイパフォーマンス・ハイブリッド・コンバーチブルであるアルトゥーラ スパイダーも登場。これは、アルトゥーラを大幅に刷新した新モデルイヤー導入の一環であり、こうして GTS、新型アルトゥーラ、750S と、マクラーレンのシリーズ生産ラインアップは、それぞれ 12 か月以内に発表されました。

2024 年 10 月、マクラーレン「1」モデルの新たな 1 ページとして、McLaren W1 が発表されました。McLaren F1 と McLaren P1™ を継承する W1 は、そのパワーとパフォーマンス、新たな高みに到達したダイナミクスと卓越したエアロダイナミクスで、マクラーレンの世界チャンピオンのマインドセットを体現しています。

また、マクラーレン・オートモーティブは、それぞれの分野での境界も押し広げ、世界のリーディングカンパニーと協力しています。そうした企業にはアシャースト、バウワース&ウィルキンス、ダイニスマ、ガルフ、ピレリ、リシャル・ミル、トゥミなどが含まれます。

#### マクラーレン・グループについて：

マクラーレン・グループは、ラグジュアリーなオートモーティブとテクノロジーにおける世界的リーダーであり、マクラーレン・オートモーティブ、マクラーレン・レーシングおよびマクラーレン・アプライドという 3 つのビジネスで構成されています。

オフィシャル ウェブサイト : <https://cars.mclaren.com/jp-ja>

オフィシャル フェイスブック : <https://www.facebook.com/mclarenautomotivejpn/>

オフィシャル インスタグラム : <https://www.instagram.com/mclarenautojapan/>

オフィシャル TikTok : <https://www.tiktok.com/@mclarenautojapan>

マクラーレン・オートモーティブ アジア 日本支社 オフィシャル ユーチューブ：  
<https://www.youtube.com/@McLarenAutomotiveJapanTV>

**マクラーレン・オートモーティブ広報事務局**

根岸 美穂子 ジェネラルマネージャー PR Communications

マクラーレン・オートモーティブ日本オフィス

Phone: [03-6675-4313](tel:03-6675-4313) / Email: [mihoko.negishi@mclaren.com](mailto:mihoko.negishi@mclaren.com)

担当：株式会社 日本経済広告社、ポーリクロム株式会社

田中 ([03-6822-4666](tel:03-6822-4666)) 岡部 (株式会社 日本経済広告社)

Phone: [03-5468-5278](tel:03-5468-5278) / Email: [jp.press@mclaren.com](mailto:jp.press@mclaren.com)